

部長所信

第36代部長予定者 河瀬 浩史

ONE TEAM
～想いをひとつに～

近年の様々な取り組みにより、昨年度末時点で広島県内最多部員数を誇る単会となりました。また青年部の諸先輩方や地域との繋がりもより強固になっております。その甲斐あって、当青年部は部員増強や事業レベルの高さを評価して頂けることが増えました。

そんな中、長年在籍していた部員の卒業が相次ぎ、比較的青年部歴の浅い部員が半数以上を占める状況となっております。

この状況をチャンスと捉え、青年部活動の目的を果たすために、今年度は、「ONE TEAM」をスローガンに活動をしてまいります。

神辺という地域はまだまだ成長する余地があります。地域のより大きな成長を支え続けるためには、地域から必要とされる事業を行い続け、我々自身・自社の成長や青年部に所属する魅力を感じられる組織であり続ける必要があります。

我々は考え無しに集められた「グループ」ではありません。同じ目的を共有する一つの「TEAM」です。

誰しも得手不得手があり、青年部の活動経験の大小もありますが、一人では出来ないことでも、たくさんの方を巻き込んで得意分野を結集し協力することで、更なる自己成長、組織の価値向上、地域の活性化につなげていけるはずです。そして、そういった活動を通してかけがえのない新たな仲間が必ずできるはずです。

人生は一度きり。時間は有限です。

貴重な仲間に出会えたこの一瞬一瞬を大切に、この変化の時代に新しい風を吹かせながら共に楽しく乗り越えていきましょう！

【経営力を向上させよう】

世の中の変化のスピードは加速度的に早まっています。しかし、どの時代も原理原則は変わらず、過去の偉人の考え方は今の時代にも大いに活かされています。そういった考え方を活用しながら、業種や事業規模を問わず通用する経営力の向上に努めましょう。経営力の向上は企業活動の拡大に、雇用の増大に、そして地域への貢献に繋がります。

【一生付き合える仲間をつくろう】

TEAM 作りの基本はコミュニケーションです。お互いのことを知り、違いを認め合うことから始まります。同じ目的を共有する仲間との本気で過ごした時間はかけがえのないものになります。

単なる仲良しグループではなく、時には厳しいことも言い合い、数年後数十年後に「今の自分はその人がいてくれたおかげ」と、思える、思ってもらえる仲間をつくりましょう。

【必要とされ続けるまちづくりをしよう】

まちづくり事業の価値判断基準は、地域から真に必要とされるかどうかだと考えます。「この地域をもっと好きになってもらいたい」という共通目的を持つ TEAM の一員として、様々な人達との連携を視野に入れた事業を展開してまいります。

また、高校の授業へ参画し、企業と学生が一緒になって考える活動を通して、地域の将来を担う子ども達の育成に寄与してまいります。

【今年度特有の取り組みについて】

部内にて、プロジェクト部門（かなべベストリートフェスティバル、Meet s かなべ）と広報部門の活動を立ち上げます。

プロジェクト部門は、委員会を横断した組織編成にすることで、各メンバーの得意分野を結集し継続事業の更なるブラッシュアップを図ります。

広報部門においては、対外に向けての発信を、よりブランディングを考慮した統一感のあるものに変えてまいります。

また、従来各委員会に2名だった副委員長の枠を3名に増やし、今後の青年部活動の原動力作りを図ります。

行動指針

1. 役割を全うしよう

フロアメンバー、副委員長、委員長、副部長、運営専務、監事、備南出向役員、直前部長、部長。それぞれに役割があり、そのどれもが重要です。その役割を認識し、自分がやること、人に任せることを分担することで TEAM としての底力が上がり活動が加速します。

2. 伝わる努力をしよう

「伝える」と「伝わる」は全く違います。どれだけ魅力のある組織や活動も、伝わらなければ無いのと同じです。部内での案内や対外的な広報などについて、様々な手法を活用して「伝わる」努力をしましょう。

3. やってみよう

今の自分は今までの自らの選択肢で出来上がっています。人生は選択の連続です。もし、自分を少しでも変えたい・成長したいと思うのなら、小さな勇気を持って今までとは少し違う選択をしてみましょう。

1年間はあっという間です。終わった後に「良い1年だったね」と笑顔で言い合いたい！
みなさんの素晴らしい力を、この地域のために貸してください！さあ！ONE TEAM！！